ファイルインポート

Excel・CSV・XML・Access・メールのファイルを、プロジェクトのテーブルとして取り込む

◇機能

《ファイルインポート》は、Excel・CSV（テキスト）・XML・Access・メールのファイルを読み込み、プロジェクトに新しいテーブルを作成する機能です。読み込み方（シート、文字エンコード、区切り文字、インポート開始行など）をプレビューで確認しながら設定し、フィールドごとにデータ型やフィールド名を指定できます。

CSVファイル（売上.csv）

```
売上日,商品No,数量,備考
2024/04/10,A01,4,
2024/05/20,B02,3,"返品,一部"
2024/06/02,A01,5,
```



インポートしたテーブル（売上）

売上日	商品No	数量	備考
2024/04/10	A01	4	
2024/05/20	B02	3	返品,一部
2024/06/02	A01	5	

※初期設定では、1行目がフィールド名、2行目以降の1行が1レコードになります。空の行は読み飛ばされます。

※各フィールドのデータ型（文字型・数値型・日付時刻型）は、ファイルの値から自動で判定されます。インポートする前に変更することもできます。

※数値型・日付時刻型に変換できない値や空欄は、数値型は「0」、日付時刻型は「1900/01/01」になります。文字型の空欄は空欄のままです（「◇インポートの結果」参照）。

※CSVファイルは、Shift_JIS、UTF-8（BOM付き・なし）、UTF-16、EUC-JPなどの文字エンコードに対応しています。

※元のファイルは変更されません。

◇メニュー

《インポート》-《ファイルインポート》

※クリックすると「データの取り込み」画面が表示されます。インポートするファイルを選択すると、ファイルの種類に合わせた画面が開きます。最初は「03_source」フォルダ（2回目からは、前回選択したファイルのフォルダ）が表示されます。

※インポートできるファイルは、Excel（.xlsx .xlsm .xls）、CSV・テキスト（.csv .txt .prn .tsv）、XML（.xml）、Access（.mdb .mde .accdb .accde）、メール（.msg .pst .ost）です。

※選択したファイルがほかのアプリケーションで開かれている場合は、メッセージが表示され、画面は開きません。ファイルを閉じてから、もう一度実行してください。

※フォルダ内の複数のファイルをまとめてインポートする場合は、《フォルダインポート》を使用します（別の機能説明書を参照）。

■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログでインポートのコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で、手順②の画面が開きます。

※手順①の設定（シート・テーブル、文字エンコード、区切り文字、文字の引用符、インポート開始行、フィールド名の行）が、コマンドのとおりに設定されます。文字エンコードなどは、ファイルから自動で判定し直されません。

※手順②では、コマンドに記述された列が選択され、データ型・書式設定・小数点の桁数・フィールド名、「全てのデータ型を文字型に変換する」、保存先がコマンドのとおりに設定されます。ファイルにない列は選択されません。

※《戻る》ボタンで手順①に戻り、設定を変更することもできます。

※コマンドのファイルが見つからない場合（削除・名前の変更など）は、メッセージが表示され、画面は開きません。

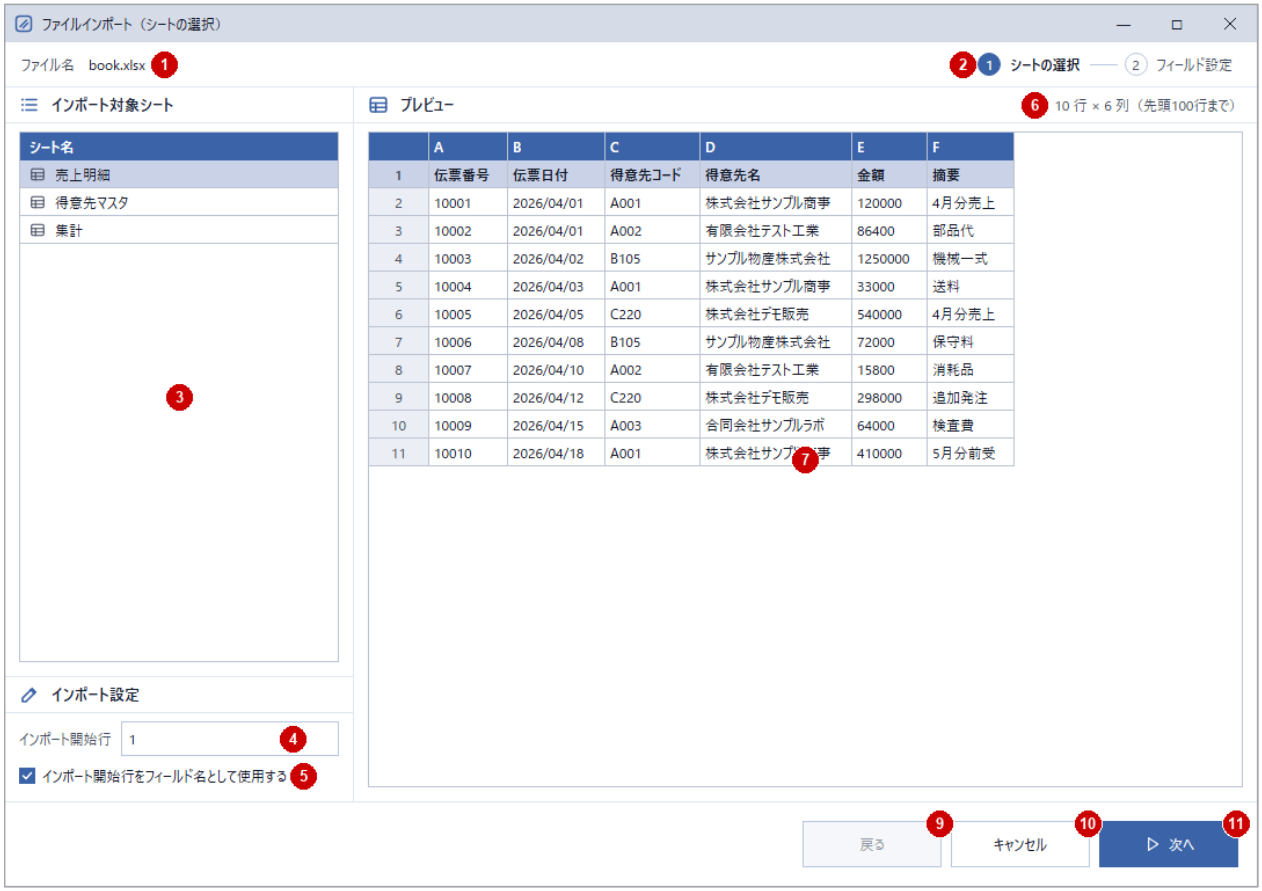
※コマンドの設定でファイルを読み込めない場合は、手順①の画面が表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容

画面は2つの手順で構成されます。手順①でファイルの読み込み方を設定し、《次へ》ボタンで手順②に進んで、フィールドと保存先を設定します。

■ 手順①（Excelファイルの場合）



	A	B	C	D	E	F
1	伝票番号	伝票日付	得意先コード	得意先名	金額	摘要
2	10001	2026/04/01	A001	株式会社サンプル商事	120000	4月分売上
3	10002	2026/04/01	A002	有限会社テスト工業	86400	部品代
4	10003	2026/04/02	B105	サンプル物産株式会社	1250000	機械一式
5	10004	2026/04/03	A001	株式会社サンプル商事	33000	送料
6	10005	2026/04/05	C220	株式会社デモ販売	540000	4月分売上
7	10006	2026/04/08	B105	サンプル物産株式会社	72000	保守料
8	10007	2026/04/10	A002	有限会社テスト工業	15800	消耗品
9	10008	2026/04/12	C220	株式会社デモ販売	298000	追加発注
10	10009	2026/04/15	A003	合同会社サンプルラボ	64000	検査費
11	10010	2026/04/18	A001	株式会社サンプル商事	410000	5月分前受

1. ファイル名　：インポートするファイルの名前が表示されます。
2. 手順の表示　：現在の手順が表示されます。手順②は「フィールド設定」です。
   - 手順①は、Excelは「シートの選択」、Accessは「テーブルの選択」、CSV・XML・メールは「ファイルの設定」です。
3. インポート対象シート（必須）　：インポートするシートをクリックして選択します。ファイルのすべてのシートが、ファイルの順に表示されます。
   - 画面を開いたときは、データのある最初のシートが選択されています。
   - シートを切り替えると、4は「1」に、5はオンに戻り、プレビューが更新されます。
4. インポート開始行（必須）　：インポートを始める行の番号（1以上の整数）を入力します。初期値は「1」です。この行より上の行は、インポートされません。
   - 5がオンの場合はこの行がフィールド名の行に、オフの場合はこの行が最初のレコードになります。
   - 入力すると、少し後にプレビューが更新されます。
5. インポート開始行をフィールド名として使用する
   ：オンにすると、4の行の値をフィールド名にします。初期値はオンです。
   - オフにすると、フィールド名は「Column1」「Column2」…になり、4の行からレコードとしてインポートされます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

6. プレビューの行数・列数 ：プレビューに表示している行数と列数が表示されます。プレビューには、先頭の100行までが表示されます。

7. プレビュー ：現在の設定でファイルを読み込んだ結果が表示されます。設定を変更すると、プレビューも更新されます。
- 太字の行がフィールド名の行です。左端の番号は、ファイルの行番号です。
- 設定に誤りがある場合は、プレビューの中央に赤字でメッセージが表示されます。

9. 《戻る》ボタン ：前の手順に戻ります。手順①では使用できません。
- 手順②から戻ると、手順①の設定はそのまま残ります。手順①の設定を変更せずに進むと、手順②の設定も残ります。

10. 《キャンセル》ボタン ：インポートせずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

11. 《次へ》／《インポート》ボタン ：手順①では《次へ》ボタンで手順②に進みます。手順②では《インポート》ボタンでインポートを実行します。
- 設定に誤りがある場合や、プレビューの読み込み中は使用できません。
- Enterキーでは実行されません（ボタンをクリックします）。
- インポートが終わると画面が閉じ、作成したテーブルがプロジェクトツリーに追加されます。

■ 手順①（CSV・テキストファイルの場合）

CSV・テキストファイルの場合は、左側に「ファイルの設定」が表示されます。4・5、プレビューは、Excelファイルの場合と同じです。



12. 文字エンコード（必須） ：ファイルの文字エンコードを選択します。画面を開いたときは、ファイルから自動で判定された文字エンコードが選択されています。
- クリック（またはF4キー、文字の入力）で一覧が開きます。一覧の上の検索欄に入力した文字を含む文字エンコードだけが表示されます。
- 日本語が正しく表示されない場合は、プレビューを確認しながら文字エンコードを選択し直してください。

13. 区切り文字（必須） ：値を区切る文字を選択します（コロン／セミコロン／カンマ／タブ／スペース／カスタム）。初期値は、ファイルから自動で判定された文字です。

14. カスタムの記号 ：13で「カスタム」を選択すると表示されます（下の画面）。区切り文字を1文字入力します（例：「|」）。
- 15で「カスタム」を選択した場合も、その下に同じ入力欄が表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

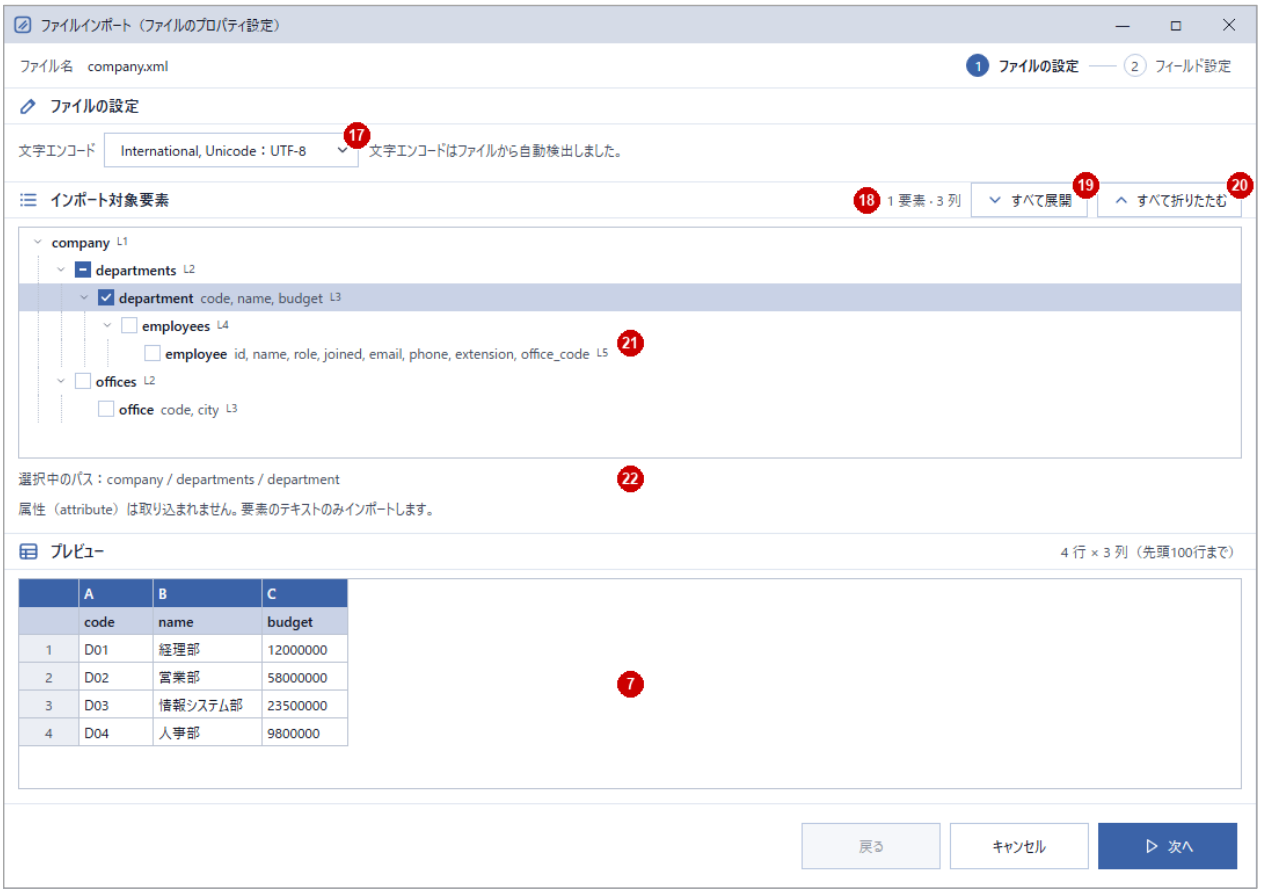
15. 文字の引用符（必須）　：値を囲む引用符を選択します（一重引用符／二重引用符／なし／カスタム）。初期値は、ファイルから自動で判定された文字です。
- 13と同じ記号は指定できません。
- 結果の例は「◇インポートの結果」を参照してください。

16. 自動判定の表示　：画面を開いたときに、「文字エンコード・区切り文字・文字の引用符はファイルから自動検出しました。」と表示されます。12・13・15のどれかを変更すると、表示は消えます。



■ 手順①（XMLファイルの場合）

XMLファイルの場合は、インポートする要素をツリーで選択します。インポート開始行とフィールド名の行の設定はありません。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

17. 文字エンコード（必須）　：ファイルの文字エンコードを選択します。画面を開いたときは、ファイルから自動で判定された文字エンコードが選択され、右側に「文字エンコードはファイルから自動検出しました。」と表示されます。
    - ファイルにBOMや文字エンコードの宣言（encoding="…"）がある場合は、ファイルの文字エンコードで読み込まれます。

18. 要素数・列数　：チェックした要素の数と、インポートする列の数が表示されます。

19. 《すべて展開》ボタン　：すべての要素を展開して表示します。

20. 《すべて折りたたむ》ボタン　：要素を折りたたんで表示します。チェックの状態は変わりません。

21. インポート対象要素（必須）　：ファイルの要素がツリーで表示されます。インポートする要素のチェックボックスをクリック（またはSpaceキー）してオンにします。
    - 要素名の右に表示されている名前（値を持つ子要素）が、インポートされる列になります。
    - 要素をチェックすると、その下の要素もすべてチェックされます。下の要素の一部だけがチェックされている要素には「－」が表示されます。
    - 属性（attribute）は取り込まれません。
    - 値のある要素をチェックするまで、《次へ》ボタンは使用できません。

22. 選択中のパス　：ツリーで選択している要素のパスが表示されます。

■ 手順①（Accessファイルの場合）

Accessファイルの場合は、左側に「インポート対象テーブル」が表示され、インポートするテーブルをクリックして選択します。画面を開いたときは、最初のテーブルが選択されています。4・5、プレビューは、Excelファイルの場合と同じです。



※パスワードで保護されたAccessファイル（.accdb）は、メッセージが表示され、インポートできません。パスワードを解除してから、もう一度実行してください。

■ 手順①（メールファイルの場合）

メールファイル（.msg .pst .ost）の場合は、左側に「インポート設定」（4・5）だけが表示されます。インポートされる列は決まっています（「◇インポートの結果」参照）。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ フィールド名が変換される場合

ファイルのフィールド名に使用できない文字が含まれる場合などは、フィールド名が自動で変換され、プレビューの下にメッセージが表示されます。



8. 変換の表示　　：記号を「_」に変換したフィールド名、64文字に切り捨てたフィールド名の件数が表示されます。

ファイルのフィールド名	インポートされるフィールド名	内容
金額(円)、A-B	金額_円_、A_B	記号は「_」に変換されます
NAME （前後に空白）	_NAME_	空白は「_」に変換されます
2026（数字だけ）	2026_	末尾に「_」が付きます
（空欄）	Column3	「Column」＋列の番号になります
CODE（2つ目）	CODE1	同じ名前には番号が付きます
65文字以上	先頭の64文字	64文字に切り捨てられます

※変換後のフィールド名は、手順②で変更できます。

■ 手順②（「フィールド設定」）

《次へ》ボタンをクリックすると、フィールドと保存先を設定する画面が表示されます。9～11のボタンは、手順①と同じです。



23. シート名／テーブル名　　：Excelはシート名、Accessはテーブル名が表示されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

24. AIで列を提案 ：AI機能を利用できる場合に表示されます。オンにすると、AIが各列のデータ型・書式設定を提案し、28に反映します。初期値はオフです。
- AIには、フィールド名とデータ型だけが送られます（値は送られません）。
- 自分でデータ型を変更した列は、変更されません。
- オフにすると、提案前のデータ型・書式設定に戻ります。
- 提案を取得できなかった場合は、メッセージが表示され、オフに戻ります。

25. 全てのデータ型を文字型に変換する ：オンにすると、すべての列を文字型にします。データ型・書式設定・小数点の桁数は変更できなくなります。初期値はオフです。
- オフに戻すと、オンにする前のデータ型に戻ります。
- 列のデータ型を変更すると、自動でオフになります。

26. 列数 ：インポートする列の数と、ファイルの列の数が表示されます。

27. 《フィールド選択》ボタン ：「フィールド選択」画面を開き、インポートする列をチェックボックスで選択します。
- 選択しなかった列は28に表示されず、インポートされません。
- 1列以上を選択する必要があります（「■「フィールド選択」画面」参照）。

28. フィールドプロパティ ：ファイルの列ごとに、作成するフィールドを設定します。下には、設定に合わせた値が表示されます。
- データ型：「文字型」「数値型（整数）」「数値型（10進数）」「日付時刻型」から選択します。
- 初期値は、ファイルの値から自動で判定されたデータ型です。
- 書式設定：数値型は「桁区切り有り」「桁区切り無し」、日付時刻型は日付の書式（例：「YYYY/MM/DD」）を選択します。
- 小数点の桁数：「数値型（10進数）」の場合に選択します。
- フィールド名：作成するフィールドの名前です。初期値は、ファイルのフィールド名（5がオフの場合は「Column1」…）です。
- フィールド名は64文字までです。記号（「-」「(」「.」など）や空白を含む名前、数字だけの名前、空欄、ほかの列と同じ名前（大文字・小文字の違いだけも同じとみなされます）は使用できません。誤りがあると、すぐに赤枠とメッセージが表示されます。
- 選択したデータ型に変換できない場合は、メッセージが表示され、元のデータ型に戻ります。

29. 保存先（必須） ：作成するテーブルの名前を入力します。初期値は、Excelファイルはシート名、Accessファイルはテーブル名、そのほかはファイル名（拡張子なし）です。
- テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
- 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
- テーブル名は64文字まで、フルパスは259文字までです。
- 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。
- 名前の途中の「..」、最後の「¥」「/」は入力できません。
- 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、実行時に上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます（「◇入力内容に誤りがある場合」参照）。

30. 《参照》ボタン ：保存画面を開き、「04_table」フォルダの中で保存先を選択できます。

31. コマンド ：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。手順②だけに表示されます。

32. 《コピー》ボタン ：コマンドをクリップボードにコピーします。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「フィールド選択」画面

《フィールド選択》ボタン（27）をクリックすると、インポートする列を選択する画面が表示されます。開いたときは、現在インポートする列にチェックが付いています。



33. 検索　：入力した文字をフィールド名に含む列だけが、36に表示されます（大文字・小文字は区別しません）。文字を消すと、すべての列が表示されます。
    - 表示されていない列のチェックは、そのまま残ります。

34. 全て選択　：36に表示されているすべての列のチェックを、オン／オフします。

35. 選択数　：チェックした列の数と、ファイルの列の数が表示されます。

36. 列の一覧　：ファイルの列（列番号・フィールド名・データ型）が表示されます。行をクリックするか、Spaceキーを押すと、チェックをオン／オフします。

37. 《キャンセル》ボタン　：確認メッセージで「はい」を選択すると、選択を変更せずに画面を閉じます。

38. 《OK》ボタン　：チェックした列を28に表示して、画面を閉じます。

※列を1つも選択せずに《OK》ボタンをクリックすると、画面の左下に「少なくとも 1 つの列を選択してください。」と表示され、画面は閉じません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇インポートの結果

ファイルの種類と設定によって、作成されるテーブルは次のようになります。

■ CSV・テキストファイル（文字の引用符）

「文字の引用符」が「二重引用符」の場合、「"」で囲まれた値の中の「,」は区切りとみなされず、「""」は「"」として取り込まれます。

CSVファイル

```
売上日,商品No,数量,備考
2024/04/10,A01,4,"返品,一部"
2024/05/20,B02,3,"""至急"""
```



インポートしたテーブル（二重引用符）

売上日	商品No	数量	備考
2024/04/10	A01	4	返品,一部
2024/05/20	B02	3	"至急"

※「"」で囲まれた値の中の改行も、レコードの区切りとはみなされず、1つの値として取り込まれます。

※「なし」の場合は、「"」も値の文字として取り込まれ、「"」の中の「,」でも列が区切られます（この例では、列が1つ増えます）。

※行によって値の数が異なる場合、足りない値は空欄になり、多い値は「Column5」…の列に入ります。

■ CSV・テキストファイル（インポート開始行）

ファイルの先頭に見出しなどの行がある場合は、「インポート開始行」にフィールド名の行の番号を指定します。

CSVファイル

```
売上明細表
出力日,2024/07/01
売上日,商品No,数量
2024/04/10,A01,4
2024/05/20,B02,3
```



「インポート開始行」が「3」の場合

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3

※「インポート開始行をフィールド名として使用する」をオフにした場合は、フィールド名が「Column1」「Column2」「Column3」になり、3行目（売上日,商品No,数量）も1件目のレコードとして取り込まれます。

■ CSV・テキストファイル（データ型と値）

データ型に合わない値や空欄は、次のように取り込まれます（エラーにはなりません）。

CSVファイル

```
売上日,商品No,数量
2024/04/10,A01,"1,234"
2024-04-11,B02,1.5
20240412,C03,abc
2024/13/45,D04,
,E05,7
```



売上日：日付時刻型、数量：数値型（整数）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	1234
2024/04/11	B02	2
2024/04/12	C03	0
1900/01/01	D04	0
1900/01/01	E05	7

※「2024-04-11」「20240412」のような日付も、日付時刻型の値として取り込まれます。

※日付として正しくない値（例：2024/13/45）と空欄は「1900/01/01」になります。

※数値型（整数）に小数の値を取り込むと、整数に丸められます（1.5→2）。数値でない値と空欄は「0」になります。

※「全てのデータ型を文字型に変換する」をオンにすると、すべての値がファイルのとおりの文字で取り込まれます。

※値の前後の空白は、そのまま取り込まれます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ CSV･テキストファイル（文字エンコード）

ファイルの文字コード	選択する文字エンコード	結果
Shift_JIS	SHIFT-JIS／CP932	正しく取り込まれます（①、～、半角カナも可）
UTF-8（BOM付き･BOMなし）	UTF-8	正しく取り込まれます（BOMは取り込まれません）
UTF-16（BOM付き）	UTF-16／UTF-16LE	正しく取り込まれます
EUC-JP	EUC-JP	正しく取り込まれます
上と異なる組み合わせ	（例：Shift_JISのファイルにUTF-8）	日本語が文字化けします（エラーにはなりません）

※文字化けしている場合は、手順①のプレビューを確認しながら「文字エンコード」を選択し直してください。

■ Excelファイル

シートの1行目（「インポート開始行」の行）がフィールド名、2行目以降がレコードになります。

Excelファイル（シート：売上）

売上日	商品No	数量	単価
2024/04/10	A01	4	120.5
2024/05/20	B02		98



インポートしたテーブル（売上）

売上日	商品No	数量	単価
2024/04/10	A01	4	120.5
2024/05/20	B02	0	98.0

※日付のセルのほか、「2024/05/20」のように文字で入力された日付も、日付時刻型として取り込まれます。

※「001」のように文字として入力されたセルの列は文字型になり、先頭の「0」も残ります。

※小数を含む列は数値型（10進数）になります。空のセルは、数値型は「0」、日付時刻型は「1900/01/01」、文字型は空欄になります。

※パーセント表示のセルはセルの値（12.5%→0.125）で、TRUE／FALSEのセルは文字として取り込まれます。

※見出しの行がある場合は、CSVファイルと同じように「インポート開始行」で指定します。

■ XMLファイル

チェックした要素の1回の繰り返しが1レコードになり、その要素の値を持つ子要素がフィールドになります。

XMLファイル（「売上」をチェック）

```
<売上一覧>
  <売上 no="1">
    <売上日>2024/04/10</売上日>
    <商品No>A01</商品No>
    <数量>4</数量>
  </売上>
  <売上 no="2">
    <売上日>2024/05/20</売上日>
    <数量>3</数量>
  </売上>
</売上一覧>
```



インポートしたテーブル

売上一覧_売上_売上日	売上一覧_売上_商品No	売上一覧_売上_数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20		3

※フィールド名は、要素のパスを「_」でつないだ名前になります（手順②で変更できます）。

※レコードにない要素の値は空欄になります。属性（no="1"など）は取り込まれません。

※「&」などの文字参照やCDATAの中の文字は、元の文字に変換されて取り込まれます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ Accessファイル

テーブルの1行目は列名の行です。「インポート開始行をフィールド名として使用する」がオン（初期値）の場合は、列名がフィールド名になり、各レコードが取り込まれます。オフにした場合は次のようになります。

Accessファイル（テーブル：T_売上）

ID	商品No	数量
1	A01	4
2	B02	3



「インポート開始行をフィールド名として使用する」がオフの場合

Column1	Column2	Column3
ID	商品No	数量
1	A01	4
2	B02	3

※列名の行が、1件目のレコードとして取り込まれます。

■ メールファイル

1通のメールが1レコードになり、次の列が作成されます。

フィールド名	内容
Folder	メールのフォルダ名（.pst .ostの場合。.msgの場合は空欄）
From	送信者
To	宛先
Subject	件名
Body	本文
CC	CC
Date	送信日時（日付時刻型）
Attachments	添付ファイルの名前

※.pst .ostファイルの場合は、ファイル内のすべてのフォルダのメールが取り込まれます。

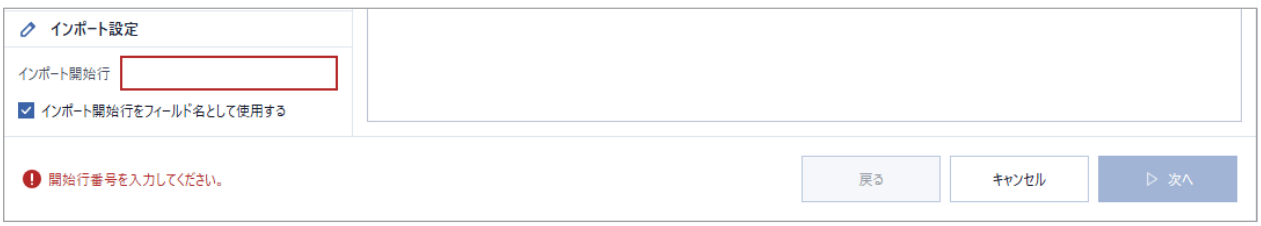
※本文がHTMLの場合は、タグを除いた文字として取り込まれます。

※本文が32,000文字を超える場合は、続きが「Body_1」列に取り込まれます。

※「インポート開始行をフィールド名として使用する」をオフにした場合は、フィールド名が「Column1」～「Column8」になり、列名の行（Folder、From…）が1件目のレコードになります。

◇入力内容に誤りがある場合

設定に誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。手順①の誤りは、プレビューの中央にも赤字で表示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《次へ》／《インポート》ボタンが使用できるようになります。



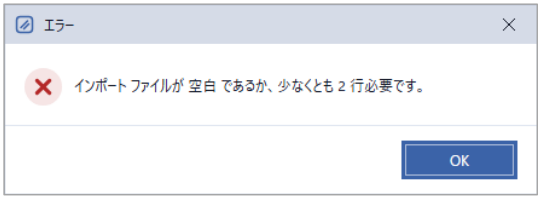
※手順①では、インポート開始行が空欄・0の場合、ファイル（シート）の行数を超える場合、最後の行をフィールド名の行にした場合、選択した文字エンコードで読み込めない場合、空のシートを選択した場合、カスタムの記号が空欄の場合、区切り文字と文字の引用符が同じ場合などに表示されます。

※手順②では、フィールド名・保存先に誤りがある場合に表示されます（「◇設定内容」の28・29参照）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ ファイルをインポートできない場合

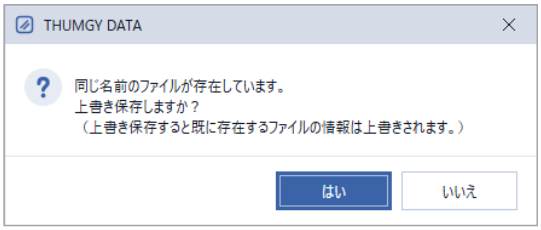
次の場合は、メッセージが表示され、画面が閉じます（または画面が開きません）。



※ファイルが空の場合や、データが1行しかない場合（上の画面）。
※列の数が500を超える場合、1つの値が32,000文字を超える場合。
※Excelファイルが壊れている（形式が正しくない）場合、データのあるシートが1つもない場合。
※XMLファイルの書式に誤りがある場合。
※Accessファイルが壊れている場合、パスワードで保護されている場合。
※ファイルがほかのアプリケーションで開かれている場合。ファイルを閉じてから、もう一度実行してください。

■ 同じ名前のテーブルがある場合

《インポート》ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると上書きされ、「いいえ」を選択すると、インポートせずに手順②の画面に戻ります。



◇操作ログ

CSV･テキストファイルの場合

IMPORT DELIMITED TO "保存先" **FROM** "ファイル" "文字エンコード" **QUOTECHAR** "引用符" **SEPARATOR** "区切り文字" **STARTLINE** 開始行 **KEEPTITLE** **ALLCHAR** フィールドの指定

Excelファイルの場合

IMPORT EXCEL TO "保存先" **FROM** "ファイル" **TABLE** "シート名" **STARTLINE** 開始行 **KEEPTITLE** **ALLCHAR** フィールドの指定

XMLファイルの場合

IMPORT XML TO "保存先" **FROM** "ファイル" "文字エンコード" **ALLCHAR** フィールドの指定（RULE付き）

Accessファイルの場合

IMPORT ACCESS TO "保存先" **FROM** "ファイル" **TABLE** "テーブル名" **STARTLINE** 開始行 **KEEPTITLE** **ALLCHAR** フィールドの指定

メールファイルの場合

IMPORT EMAIL TO "保存先" **FROM** "ファイル" **STARTLINE** 開始行 **KEEPTITLE** **ALLCHAR** フィールドの指定

フィールドの指定

FIELD [フィールド名] データ型 **DEC** 桁数 **PIC** "書式" **AS** [新しい名前] **RULE** "要素のパス" ･･･
（または **ALLFIELDS**）

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
TO "保存先"	作成するテーブル（.hdf5付き）	29
FROM "ファイル"	インポートするファイル	1
"文字エンコード"	ファイルの文字エンコード（CSV・XML）	12／17
QUOTECHAR "引用符"	文字の引用符（なしは ""）	15
SEPARATOR "区切り文字"	区切り文字	13
TABLE "名前"	シート名（Excel）／テーブル名（Access）	3
STARTLINE 開始行	インポート開始行	4
KEEPTITLE	フィールド名の行の指定（下の※参照）	5
ALLCHAR	すべての列を文字型でインポート	25
ALLFIELDS	ファイルのすべての列をインポート	27
FIELD [フィールド名]	インポートする列（ファイルのフィールド名）	28
データ型	C：文字型 N：数値型（整数） F：数値型（10進数） D：日付時刻型	28
DEC 桁数	小数点の桁数（Fのみ）	28
PIC "書式"	書式設定（N・F："True"＝桁区切り有り、"False"＝無し／D：日付の書式）	28
AS [新しい名前]	フィールド名を変更	28
RULE "要素のパス"	XMLの要素（"/ルート/…/要素名/text()"）	21

※KEEPTITLEは、Excel・CSV・メールでは「インポート開始行をフィールド名として使用する」をオフにした場合、Accessではオンにした場合に記述されます。

※ALLCHARは「全てのデータ型を文字型に変換する」をオンにした場合に記述されます。さらに、すべての列を選択し、フィールド名を変更していない場合は、FIELDの代わりにALLFIELDSが記述されます。

※FIELDは、選択した列ごとに、列の順に記述されます。DECは小数点の桁数を選択した場合、PICは文字型以外の場合、ASはフィールド名を変更した場合、RULEはXMLの場合に記述されます。

※FROMは、「03_source」フォルダの中のファイルは「03_source」からのパス、そのほかはフルパスで記述されます。

※TOは、「04_table」フォルダからのパスで記述されます。

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※FROMのファイル名には、拡張子を付けて記述します（省略すると、ファイルが見つからずエラーになります）。

※ファイル名だけを記述すると、「03_source」フォルダ（サブフォルダを含む）から探します。同じ名前のファイルが複数のサブフォルダにある場合はエラーになるため、「サブフォルダ名¥ファイル名」と記述します。

※「05_export¥ファイル名」と記述すると「05_export」フォルダのファイルを、フルパスではそのファイルを読み込みます。

※キーワード（IMPORT、DELIMITED、TO、FROM、TABLE、STARTLINE、FIELD、PIC、ASなど）とデータ型（C・N・F・D）は、大文字で記述します。小文字で記述するとエラーになります。

※キーワードは、上の構文の順に記述します（例：CSVでは文字エンコード、QUOTECHAR、SEPARATOR、STARTLINE、KEEPTITLE、ALLCHAR、FIELDの順）。順番が違うとエラーになります。FIELDの中は、データ型、DEC、PIC、AS（XMLはその後にRULE）の順です。

※下線のない部分は、省略せずに記述します。

※キーワードの間には、半角・全角のスペース、タブ、改行を入れることができます（複数行に分けて記述できます）。

※文字エンコード（CSV・XML）は省略できません。大文字・小文字、「-」と「_」は区別されません（例："utf_8"）。

※QUOTECHARとSEPARATORには、異なる記号を1文字ずつ指定します。タブ区切りの場合は、SEPARATORにタブ文字を記述します。

※STARTLINEには、1以上で、ファイル（シート）の行数以下の数を指定します。

※TABLEのシート名は、大文字・小文字を区別しません。Accessのテーブル名は区別します。

※FIELDのフィールド名は、大文字・小文字を区別して、ファイルのフィールド名（KEEPTITLEの場合は「Column1」…）で記述します。一部の列だけを記述することもできます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

※データ型がNとFの場合は PIC "True" または PIC "False"（大文字・小文字もこのとおり）、Dの場合は PIC "日付の書式"（例："yyyy/mm/dd"、小文字で記述）が必要です。DECはFの場合だけ、29までの数を指定します。

※同じフィールドを2回記述したり、ASで同じ名前を付けたりすると、エラーになります。ASに数字だけの名前（例：123）を指定すると、「123_」になります。

※XMLの場合は、FIELDごとにRULEを1つ記述します（ASはRULEの前）。ファイルにない要素や、ほかのFIELDと同じRULEはエラーになります。

※TOの保存先の規則は、「◇設定内容」の29と同じです。

オプションの例

記述	インポートの結果
STARTLINE 3	3行目をフィールド名とし、4行目からレコードとしてインポートします
STARTLINE 3 KEEPTITLE	3行目から、「Column1」…のフィールド名でインポートします
ALLCHAR ALLFIELDS	すべての列を文字型でインポートします
FIELD [数量] N PIC "True"	数量を数値型（整数）・桁区切り有りでインポートします
FIELD [単価] F DEC 2 PIC "False"	単価を数値型（10進数）・小数点以下2桁でインポートします
FIELD [売上日] D PIC "yyyy/mm/dd"	売上日を日付時刻型（YYYY/MM/DD）でインポートします
FIELD [備考] C AS [メモ]	備考を文字型でインポートし、フィールド名を「メモ」にします

例

IMPORT DELIMITED TO "売上.hdf5" FROM "入手データ¥売上.csv" "SHIFT_JIS" QUOTECHAR """ SEPARATOR "," STARTLINE 1 FIELD [売上日] D PIC "yyyy/mm/dd" FIELD [商品No] C FIELD [数量] N PIC "True"

IMPORT DELIMITED TO "売上¥売上明細.hdf5" FROM "売上明細.csv" "UTF-8" QUOTECHAR """ SEPARATOR "," STARTLINE 3 ALLCHAR ALLFIELDS

IMPORT EXCEL TO "売上.hdf5" FROM "入手データ¥book.xlsx" TABLE "売上" STARTLINE 1 FIELD [売上日] D PIC "yyyy/mm/dd" FIELD [商品No] C FIELD [単価] F DEC 2 PIC "True" AS [販売単価]

IMPORT XML TO "売上.hdf5" FROM "売上.xml" "UTF-8" FIELD [売上一覧_売上_売上日] D PIC "yyyy/mm/dd" RULE "/売上一覧/売上/売上日/text()" FIELD [売上一覧_売上_数量] N PIC "True" AS [数量] RULE "/売上一覧/売上/数量/text()"

IMPORT ACCESS TO "T_売上.hdf5" FROM "入手データ¥hanbai.accdb" TABLE "T_売上" STARTLINE 1 KEEPTITLE ALLCHAR ALLFIELDS

IMPORT EMAIL TO "請求書.hdf5" FROM "請求書送付.msg" STARTLINE 1 ALLCHAR ALLFIELDS

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.